

# 昌子の広場 第88報新春号 小林昌子議会報告

## 和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘 2-13-10

自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626

事務所 Tel(Fax)0725-53-4451

Email masakokob@ybb.ne.jp

http://masako-hiroba.info/

ホームページもご覧下さい

yahoo の小林昌子で検索出来ます



### 新春挨拶

### 第4回定例会で一般質問しました

目次	
・新春の挨拶	P1
・一般質問しました	P2-3
・昌子の広場	P4

新年明けましておめでとうございます。  
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

後援会長 見辺博夫

旧年中はいろいろと厚誼を頂き誠に有難うございました。昨年9月の市議選おきましては最高得票にて当選させていただきました。

これは偏に皆様方の暖かいご理解の賜と衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、米国金融危機に端を発した世界不況が国内の雇用に猛烈な寒波となって襲いかかってきています。今年は本当に厳しい年になる予感が致します。小林昌子市議にはこのような時代にも市民の目線にたって、市民の安全・安心を念頭に市政全般にわたって活躍されることを期待しています。

皆様方には何とぞ旧倍のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。年頭に当たり皆様ご家族のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

プラザにて立てば自ずと胸張りて

目ははなつなり空のますみに(シティープラザにて)

硬玉の厳洗えたる谷川の

水は千古の流れやまず(飛水峡にて)

新春のご挨拶 小林昌子



昨年9月に行われました和泉市市議会議員選挙の際は多くの方のご支援を頂き、トップ当選という思いもよらない結果を頂きました。あらためて責任の重さを実感する日々をすごしております。

さてサブプライムローン問題を契機に発生した米国金融危機が、实体经济にも波及し、かつて無い早さで世界同時不況に向かっています。日本におきましても労働者特に派遣業界で働いていた人たちは会社側の派遣打ち切りにあい、大変な環境におかれています。

このような時こそ政治の出番ですが、解散を恐れる余り景気対策の第二次補正予算も年頭まで持ち越し、特定給付金に至っては選挙目当てのばらまきと国民は厳しい評価をしています。2兆円を職を失って生活危機に瀕している方達に重点的に対応出来る施策が何故採れないのでしょうか。米国ではオバマ新大統領が誕生しますが、日本では解散を控えこの重大な時期に中途半端な政権が続くことになります。

和泉市では市立病院問題が心配の種です。私は公立病院として存続することを願っていますが、膨大な赤字の前に果たして存続出来るか、見通しは決して明るくはありません。府中駅前開発に伴い新たな財政負担が控えています。景気後退の流れは何れ和泉市にも波及するでしょう。今年は正念場の年になると思います。

議会は、昨年の選挙で定数削減が行われましたが、議会改革はまだ緒についたばかりです。厳しい時代に対応出来る新たな議会を目指したいと考えています。

このような厳しい年ではありますが、皆様方と一緒に希望を持って少しでも明るい話題が提供出来るよう頑張るつもりです。どうぞ宜しくお願いいたします。

2009年正月

## 第4回定例会で一般質問しました

### < 存続出来るか市立病院 >

**質問** 平成19年度の決算を見ると16億円の赤字、累積債務67億円、不良債務20億円など誠に厳しい決算である。銚子の市立病院の閉院、松原市の病院が3月末で廃止の予定など、公立病院の存続問題が出ているが、市立病院の経営健全化計画の進展は？又新しい医師の研修医指定が解除されたと聞いているが、2年間研修医がいないときは指定が解除されるのか。

**答弁** 健全化実施状況は病院収入面については、外来患者が計画693人に対し608人、入院については計画250人に対し206人と何れも未達の状態である。支出面は退職者不補充、新規退職勧奨制度による人員削減、給与等の適正化等ではほぼ計画通りの達成状況である。H24健全化計画最終達成の見通しは、計画がまだ緒に就いた段階であるが、収入が依然減少しており厳しい状況が続いているが。夜間診療、総合内科等で患者数の増加を目指したい。又健全化計画の実施状況について外部有識者の経営監視委員会を作り、そこでの議論や意見を経営に活かし、収支改善を図っていききたい。

研修医指定解除の問題は、外部応援医師について不都合があり、近畿厚生局より指導を受け研修病院の指定を辞退している。又2年間研修医がいないときは指定取消の場合があると近畿厚生局から通知が来ている。

**質問** 医師のモチベーションを上げるため予てより言われている医師の年俸制の導入は？

独立行政法人化の問題は？

研修医が減少を続けているがその原因は？

このままの赤字を出し続けたとして市の財政破綻はいつ頃になるか？

**答弁** 医師の働きがい確保するための年俸制は平成22年度までには取り入れたい。今後も職員一丸となって収益改善に取り組み公立病院として存続させたい（独立行政法人化の予定なし）。消化器内科の常勤医師が居ないことが研修医の減少の大きな原因である。研修医の辞退を委員会で報告しなかったのは申し訳ない。

財政破綻の問題は、連結実質赤字比率の早期健全化基準の16.75%でいくと52億円の赤字に相当する。現在市は連結で14億円の黒字であるから、現状の不良債務の13億円が毎年積み上がると仮定すると平成25年に64億円の赤字にな

り、早期健全化基準に達する。又平成28年には103億円の赤字となり基準の30%を超え財政再建団体に転落する。

#### < コメント >

病院の経営は健全化計画が実施されているものの大変厳しい状況が続いています。以下の表が平成20年9月の実績と、健全化計画と比較したものです。患者数が答弁にもあるように、大きく未達成でありその結果経常収支比率が10ポイントも未達となっています。

又職員給与比率が11ポイント未達で、給与の削減が進んでいないことを表しています。公立病院存続計画の一つの指標である病床利用率も改善が全く見られません。

このような数字を見ると、今後余程抜本的な施策を講じないとずるずる赤字を垂れ流す構造になるのでは無いかと危惧しています。

	健全化計画 (平成20年度)	H20.9月実績	差	評価
入院単価	38,542	40,630	2,088	○
入院患者数/日	250	208	-42	×
外来単価	8,136	8,058	-78	○
外来患者数/日	693	606	-87	×
医師数	45	42	-3	×
技師・看護士数	254	246	-8	○
経常収支比率(*)	84.7	75.5	-9.2	×
職員給与比率(*)	65.0	76.1	11.1	×
病床利用率	76.5	63.6	-12.9	×

(\*)平成19年度決算の値

次に公立病院の存続の問題ですが、下の表は既に廃院した銚子市と3月末廃止が決まった松原市の病院との比較です。安閑とはしておれません。

	和泉市	銚子市	松原市
医師数	42	13	27
患者数/日	820	516	677
病床利用率	61.8		66.5
総収益(百万円)	4,920	3,327	3,257
総費用(百万円)	6,515	3,567	4,055
損益(百万円)	△ 1,595	△ 240	△ 798
累積債務(百万円)	6,731	1,242	3,971
繰入金(百万円)	830	1,500	553
累計繰入金(億円)	197	199	
一時借入金(億円)	25	0	15
職員給与比率(%)	76.1	80.7	66.7
市の財政状況			
標準財政規模(億円)	299	146	224
実質連結赤字比率(%)	-	-	5.0
実質公債比率(%)	6.9	12.2	7.6
将来負担比率(%)	67.9	151.7	129.3
地方債残高(億円)	526	312	334



### < 補助金の不正請求について >

**質問** 厳しい財政状況にあって、市民の税金を原資とする補助金はその目的、効果等厳しく評価されるべきと考えるが、現在どれくらい補助しているのか、大野町会館増築に対する補助金の不正請求の経緯と、不正分のみの返還請求にした理由は？ どのようなチェック体制をとっているのか？

**答弁** 平成19年度決算ベースで129件、総額18億66万円となっている。大野町会館の問題は予てより町会館増築の計画があったが、予算の問題で進まなかった。そこで当時の役員等が地元建設会社に水増しした見積書を提出させ、それをもとに補助金を不正取得したものである。不正請求についての返還は、現役員以下深く反省していること、増築した会館は町民の役にたっていること等を考慮して弁護士とも相談し、不正分の請求にとどめた。既にその分の返還は終わっている。チェック体制は申請時にチェックするのは勿論完成時にも現場確認を含めチェックしている。

**質問** 今回の大野町の不正請求は、建設会社を巻き込み、帳簿上の不整合を隠すため町会役員が架空の寄付を行い町会ぐるみの極めて悪質な事例である。不正分の請求は余りにも甘い対応で全額返還請求すべきでないか。又備品が未購入であったり、申請額と購入額が違うなど市が完了後のチェックを確実に行えば、ここまで事態はこじれなかったのでは？

**答弁** 現町会が深く反省し、私的流用や目的外使用も無かったこと、町民の利益につながっていることから、一部の返還とした。チェック体制についてはチェックリスト等を作り適正に執行できるようにしたい。

**質問** 今回頂いた資料を精査すると北田中町と若樫町で不正請求の疑いがある。北田中町は平成15年7月に改修申請で補助を受け、更に平成17年5月に更に補助を受けているが、助成を受けてから5年を経過しないと補助が受けられない要綱に違反するのでは？

**答弁** 段差解消の為の補助であるが、選挙に備え実施したいとの要望等を考慮し緊急性を要するとして補助を行った。

**質問** 若樫町の件は倉庫増築工事として申請しているが私が現地を見たところダンジリ小屋としか思えないのですがいかがですか。

**答弁** 申請当時の内容からは、集会施設の付帯施設として備品等の収納倉庫として補助したものであ

る。

**質問** 自治会館の建設の補助36件について調べただけでこのような不正請求と見られる事例が見られた。市長は補助金の再チェックをすべきではないか。

**答弁 (市長)** 大野町の問題は大変遺憾である。国や府の補助事業はかなりの制約があるが市単独事業は柔軟に対応できる部分もあり、その裁量の中で条例や要綱に明記するところは明記して対応が必要と考える。市民や社会的ニーズに沿った補助について要綱等の必要な改正を行いながら実施する事も必要ではないかと職員に指示しているところである。未だ十分な対応ははかられているか疑問であるが、今後それらの視点での見直しについて対応していきたい。

### < コメント >



上は若樫町ダンジリ小屋の報道です。私の一般質問を聞いて記者が取材し記事にしたものです。市はこれを会館附属の倉庫として申請を受理したと言っています。しかしこの倉庫は寸胴の背の高い1階建ての建物で倉庫としてはいかにも不釣り合いなもので、その姿形から一見してダンジリ小屋であることは誰が見ても明らかです。その横に隣接して洗面小屋が造られています。会館の倉庫であれば会館内に立派な洗面室があり、このような洗面設備は不要です。この申請を倉庫として受理した市の担当者は何をチェックしていたのでしょうか。ダンジリ小屋として使っていることを市に伝えなかった事はまずかったと当時の会長が言っているようですが、市に確認したか否かに拘わらず、目的外に倉庫を使用しているの、補助金の目的外使用に当たり補助金は返還されなければなりません。

## < 互助会について >

**質問** 互助会が今年度末で廃止されると聞いているが事実か？ 廃止されたときに現在保有している資産はどれぐらいでどのように処分するのか？ 互助会は今いくつかの裁判を起こされているが継承する組織はあるのか？

**答弁** 平成21年3月末で解散算する決議がなされている。保有資産は固定資産が東京なにわ会館等で約19億円。流動資産は預金と貸付金で123億円である。これらは解散時点で債権債務関係の清算が終わった段階で資産が残っていれば自治体に返還される。訴訟は清算法人としての互助会が引き継ぐ。

**質問** 廃止後職員の福利厚生はどうなるのか。資産の処分についてはその詳細を事前に明らかにしたい。

**答弁** 福利厚生として引き継ぐことが可能なものは共済組合や健保組合が継承するよう検討中である。それ以外は事業を精査の上清算会社の互助会が実施する予定である。現在の互助会への市からの補助は厚生課に支出する。債権債務の終了は大凡2年程度と考えている。

### < コメント >

互助会問題は近畿の市民派議員が中心となって「公金の投入の見直しを求める議員の会」を結成し、互助会の廃止を市長会や町村会に求めてきたものです。ヤミ退職金と市民から厳しい批判を浴びた退会給付金に対する住民訴訟でその違法性が認められ、互助会はH17年11月に退会給付金制度を廃止しました。その後市からの補助金は更に削減され、事業の中心である退会給付金制度が廃止されたことにより互助会の存続の意味が問われ、早晩廃止されるものと思っておりましたが、いよいよその時を迎えたものです。万感の思いです。



## 昌子の日記

- 12/1 和泉中央駅会報配布
- 12/2 和泉中央駅会報配布、本会議
- 12/3 厚生文教委員会傍聴
- 12/4 和泉中央駅会報配布、都市環境委員会
- 12/5 総務安全委員会傍聴
- 12/6 桃山学院大学サークルMAP 認証式(ソロプチミスト大阪-南陵)
- 12/8 和泉中央駅会報配布
- 12/9 和泉中央駅会報配布
- 12/11 一般質問
- 12/12 一般質問、川の全国シンポジウム実行委員会
- 12/13 生きもの調査、万葉講座、ダム定例会
- 12/14 ごみ学習会
- 12/15 本会議、泉北環境施設組合議案説明会、議会改革検討会議
- 12/16 和泉中央駅会報配布、鳳土木和泉工区へ
- 12/17 事務所運営委員会、会派話し合い
- 12/18 国際ソロプチミスト定例会
- 12/19 光明池駅会報配布、洋ランの会
- 12/22 和泉中央駅会報配布、都市計画審議会
- 12/24 和泉府中駅会報配布
- 12/25 北信太駅会報配布、泉北環境施設組合議案
- 12/26 信太駅会報配布

### < 事務所行事 > いずれも小林昌子事務所

連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626

事務所 TEL 0725-53-4451

(事務所 緑ヶ丘1-3-15)

### 万葉講座(場所 緑ヶ丘自治会館にて)

・講師 大高勇さん(犬養万葉顕彰会会員)

・会費1,000円(3か月分) 14-16時

・次回は3月開催

< 途中からの参加でも十分お楽しみ頂けます >

### ちぎり絵

・講師 西原志満子さん

・1月14日(水)13時~16時

・材料費実費 参加費無料

### パソコン講座(参加費無料)

・第2、第4週の火曜、木曜

いずれも10時~12時と14時~16時

### 市政相談会

・第2、4水曜日 20:00~21:30